

新型コロナウイルスワクチンの職域接種に関するアンケート

2021年6月より、企業等による新型コロナウイルスワクチンの職域接種が行われました。国難とも言うべき危機的状況において、新型コロナウイルス対策の切り札となるワクチン接種を、企業等のリソースも活用しながら総力を挙げて進めるという方針は理解できます。

一方で、職域接種を進める中では、ワクチン供給量の不足による新規受付の早期停止、接種対象者の管理の複雑化、企業側における体制整備や運営負荷等、制度設計上の課題が見られたことも事実です。「結果としてワクチン接種が進んで良かった」だけで終わらせるのではなく、今回の対応を振り返り、得られた教訓やノウハウをエビデンスとして残し、今後起こり得る同種の事案や対応に活かすことが重要だと考えます。

そこで、企業等の対応実態を明らかにすることを目的として、関西経済同友会では会員所属企業・団体を対象に、職域接種に関するアンケートを実施いたします。会員の皆様におかれましては、ご多用のところ大変お手数ですが、趣旨ご賢察の上、ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

<概要>

- (1) 対象：関西経済同友会 会員所属企業・団体
- (2) 回答期間：2021年11月1日（月）～2021年11月25日（木）
- (3) 結果の公表：
 - ・本アンケートの取り纏め結果は政府・自治体等への発信、対外公表を予定しております。
 - ・回答企業（団体）名は非公表といたします。ただし、回答内容に対応事例等として公表する可能性があります。
- (4) 特記事項：2021年10月時点での状況・認識をご回答ください。

(1) 共通設問

Q1：御社の従業員規模について、該当する選択肢を選んでください。

- A. 1,000 名以上
- B. 1,000 名未満

Q2：御社の業種について、該当する選択肢を選んでください。

- A. 製造業
- B. 接客等の直接対応を伴うサービス業
- C. 生活インフラ関連事業
- D. 情報通信業
- E. 上記以外

Q3：今回、職域接種を実施しましたか。（自社単独での実施に限らず、他社との共同実施等を含みます。）

- A. 実施した → (2) Q4 へ進んでください
- B. 実施しなかった → (3) Q19 へ進んでください

Q12：職域接種の運営全般を通じて、工夫した（上手くいった）点があればお答えください。

[]

Q13：職域接種以外で、従業員のワクチン接種促進やサポートに向けて、企業として実施した内容がありますか。
ある場合はその内容についてもお答えください。

- A. ある
- B. ない

→（Aの場合）その具体内容【複数回答可】

- a. 従業員本人の接種にかかる特別休暇等 → 選択（接種当日・副反応）
- b. 従業員の家族等の接種にかかる特別休暇等
- c. 接種可能な医療機関等の紹介
- d. その他（ ）

Q14：職域接種の実施を決めた理由をお答えください。（複数該当する場合でも最も大きな要因を1つ選択。）

- A. 行政からの依頼等、社会的要請に応えるため
- B. 事業活動の維持・再開に資すると考えたため
- C. 従業員への福利厚生的観点から
- D. その他（ ）

Q15：実施に当たり、自社の負担（コスト面、人員面、設備面等を総合した負担）はどの程度ありましたか。

- A. かなり負担が大きかった
- B. やや負担があった
- C. あまり負担はなかった
- D. 負担はほぼなかった（補助等で十分に賄えた場合を含む）

Q16：今回実施した職域接種について、自社に生じたコストや負担に対して、それに見合う価値（メリット）を得られたと考えるか、以下から当てはまる選択肢をお選びください。

- A. 負担に見合う（それ以上の）価値があった
- B. ある程度の価値はあった
- C. あまり価値はなかった
- D. 負担に見合う価値はなかった

Q17：今後、同様の事案が発生した場合、また自社で職域接種を実施したいと考えますか。

- A. 実施したい（今回と同様の形式で構わない）
- B. 実施を検討するが、今回の教訓は活かして（改善して）ほしい
- C. あまり実施したくない（他の手法を検討すべき）

→(4)Q21へ進んでください。

(4) 共通設問（今回の職域接種に関する評価）

Q21：政府や自治体における今般の職域接種実施に関する動きについて、評価をお答えください。また、そのように評価する理由として、具体的な評価できる点や評価できない点をお答えください。

- A. 評価できる
- B. まあ評価できる
- C. あまり評価できない
- D. 評価できない

→理由（評価できる点・評価できない点）

[]

Q22：今後、同様の対応が生じると想定した場合に、今回の対応を通じた政府や自治体への改善・要望事項をお答えください。

[]

Q23：今回の職域接種においては、打ち手不足等の解消や接種方法の多様化による全体の接種スピードアップ等が期待された一方、ワクチン供給不足や他の接種方法との調整（リソースの取り合いを招いた）等、様々な課題点も指摘されています。改めて、今回実施された職域接種という手法は、社会全体としてワクチン接種を進める上で適切な方策だったと考えますか。企業等を活用するという方針及びその具体的な運営手法の適否に着目して、回答ください。

- A. 全体方針・運営手法ともに適切だった
- B. 企業等を活用という方針は適切だったが、計画や実務面等に問題があった
- C. 具体的な計画や実務面等は適切だったが、企業等を活用する方針自体に問題があった
- D. 適切ではなかった（職域で接種を進めるという方針と具体的な運営面の双方に問題があった）

→理由

[]

以上